

令和3年度～4年度 起業支援業務(プログラム等運営委託業務)の
公募型プロポーザルに関する質疑回答

令和3年2月24日(水)

番号	項目	質疑内容	回答
1	審査会	会場参加とオンライン参加を併用することは可能か。	可能です。会場参加とオンライン参加を併用する場合は、様式-3の提出時に、参加者氏名に括弧付きでオンライン参加者であることを示してください。 また、併せて様式-4のオンライン接続テストに関する参加申込書もご提出ください。
2	業務全般	受講料は委託業務と見積限度額に影響しないという理解でよいか。	お見込のとおりです。 見積限度額には影響を及ぼしません。また、受講料徴収に係る事務手続きについては県で全て実施いたします。
3	業務全般	広報に関して、各プログラム・セミナーのフライヤー作成時には、広報委託先と県と3者で協議をして決めていくことになるのか。	お見込のとおりです。
4	業務全般	Web会議ツールのアカウント取得について、最終的なアカウント権限は県に帰属することとあるが、どういうことか。	KSPにおけるイベントや起業相談の際にはこちらで取得したアカウントを利用します。 このため委託料の中でアカウントを取得してください。
5	インキュベーションマネージャー	インキュベーションマネージャーの業務について。	以下の業務を想定しています。 なお、インキュベーションマネージャーは週2日程度業務にあたる予定です。 ・相談対応(総合的な相談窓口の役割) ・出張相談対応 ・相談者の各種サポートへのつなぎ ・会員の進捗管理(アフターフォロー含む) ・プログラム参加者のフォロー(プログラムへの立ち会い) ・起業家紹介記事作成、チラシ等の管理
6	インキュベーションマネージャー	インキュベーションマネージャーは、委託業務の中にあるメンターとは別にいるという認識で良いか。 インキュベーションマネージャーの謝金等の支払については委託業務外という認識で良いか。	お見込のとおりです。 インキュベーションマネージャーは、県が直接委嘱し、配置する予定です。 インキュベーションマネージャーへの謝金支払いについても県が行います。
7	起業相談	メンタリングの相談記録はどのようにつけたら良いか。	R2年度より会員管理システムを導入しており、起業相談及びセミナー・プログラムにおける相談記録はシステム内で管理しています。 相談記録はメンター側のみ入力する形で運用しています。
8	プログラム・セミナー等	ゲスト講師への謝金 別紙1-②に謝金想定額があるが、これを超えて支払うことは可能か。	別紙1-②は想定金額のため、これを超えて支払うことは可能です。 委託費の中で調整してください。
9	実施体制	勤務形態 本業務に主として従事する者(県や支援機関との調整作業やプログラムの企画をする者)の勤務形態は、役員又は雇用契約のある者という理解で良いか。	お見込のとおりです。
10	実施体制	会場整理はアルバイトでもかまわないか。	アルバイト等の対応も可能ですが、会場整理等、経験やノウハウが必要ない業務への従事に限定してください。